

NEWS① 世代をつなぐまちづくり授業「まちのしごととくらしマップ」をおこないました

町では、地域への愛着を育み、将来のまちづくりを担う世代を育てることを目的に、学校と連携した「まちづくり授業」を継続して行っています。

令和7年度は、地域の仕事や暮らしを子どもたちの視点で可視化し、まちとの関わり方や将来の姿を思い描く機会とすることをねらい、「まちのしごととくらしマップ」の授業をおこないました。西郷小学校6年生と西郷中学校3年生が参加し、インタビューやデジタル技術を活用した記録作業に取り組みました。

授業では、地域で働く方々を訪問し、仕事内容や大切にしている思いなどについて話をうかがいました。さらに、スマートフォンアプリを用いて建物等を3Dスキャンし、得られた情報を整理してデジタルマップを作成しました。

このマップには、児童生徒が取材や記録を通して自らの視点でまとめた内容が反映されています。完成したデジタルマップは、児童生徒が成果を共有する際に活用しました。今後、町のホームページでの公開を予定しています。



▲インタビューの様子



▲成果発表会の様子



▲完成したデジタルマップの表示画面

NEWS② 景観計画の策定を進めています



▲景観計画策定委員会の様子

隠岐の島町では、豊かな自然や歴史ある街並みを次の世代へ引き継ぐため、景観計画の策定を進めています。令和7年度は、策定委員会において、町内全域を対象とした建築行為等の事前届け出制度や、デザイン等のルール設定の方向性を整理しました。また、西郷港周辺を「景観形成重点区域」と位置づけ、その区域における景観づくりの考え方をまとめました。

令和8年度は、これまでの検討内容をもとに、住民の皆さまへの意見募集をおこないながら、計画の最終案をとりまとめ、年度末に景観計画を策定する予定です。

NEWS③ 日本PPP・PFIセミナーで発表しました

4月20日に開催された「第243回日本PFI・PPP協会セミナー」で、西郷港周辺まちづくりの一環として進めている官民連携の取り組みを紹介しました。PFI・PPPは、公共施設の整備や運営に民間の力を活用する手法で、今回のセミナーでは本町での進め方や状況を説明しました。セミナーには全国から185団体・411名が参加し、発表内容に関心を寄せる参加者も多く、本町の取り組みを知っていただく機会となりました。

NEWS④ 各地から視察がありました

全国市町村会や国土交通省中国地方整備局の皆さまが来町し、西郷港周辺まちづくりの背景や進め方について意見交換をおこないました。



▲全国町村会視察の様子

INFORMATION① うみやまもつと広場のご案内

子ども用の遊具やブランコ、黒板などを設置し、過ごしやすい空間づくりを試行しています。



▲うみやまもつと広場の様子



海の見える交流館の整備が前に進んでいます

西郷港周辺まちづくりプロジェクトに関するニュースレター Vol.8をお届けします。このニュースレターでは、現在進行中のプロジェクトに関する取り組みを町民の皆さまへお知らせしています。

海の見える交流館の整備に向けた動きが少しずつ前に進んでいます。交流館と周辺整備の計画について、町では説明や意見交換をおこないながら検討を進めてきました。今号では、その取り組みの概要と、意見交換会で地域の皆さまからうかがったご意見をお伝えします。あわせて、関連する取り組みについても掲載しています。



海見える交流館整備に向けて、地域の声をうかがいながら進めています



▲交流館外観イメージ図

町では、海とまちをつなぎ、世代をつなぐ新しい拠点として、「海見える交流館」の整備を進めています。交流館の周辺は、歩きやすく安全な空間となるよう、みちや広場の整備を計画しています。

海見える交流館は、軒下広場を中心に周辺広場と一体となった複合施設です。1階は「隠岐の島の食」を楽しめる場、2階は「交流や学びなどを通じて地域の活動やアイデアが生まれる場」を計画しています。

◆海見える交流館周辺整備について

交流館周辺は、歩行者が安心して通行できる環境の確保と、海とまちをつなぐ空間づくりを行うため、歩車共存型のみち整備を進めています。

- 車両の速度を抑え、歩きやすいみちづくりをおこないます
- 交流館・ターミナル・ポートプラザの動線が重なる難通りの一部を歩行者中心の空間にします

令和8年3月議会では、この内容に関して、道路の通行や幅員の現状維持を求める請願が採択されました。あわせて「丁寧な地域住民への説明」「必要に応じた計画の見直し検討」「慎重な予算執行」を求める附帯決議が出されました。

◆住民の皆さまと意見交換をおこなっています

町では、議会からの附帯決議を受け、中町や西町の町内や各会議で説明と意見交換を進めています。

中町1～9町内および西町1・2町内の皆さまとの意見交換会では、計画地周辺を歩きながら説明を行い、参加者の皆さまから様々なご意見をうかがいました。難通りや町道西郷142号線の使い方について現状維持を望む声もありましたが、まちづくりの現状や方向性については、町からの説明や意見交換を通じて、「内容が理解できた」「特に支障はない」といった声が多く寄せられました。



▲意見交換会の様子



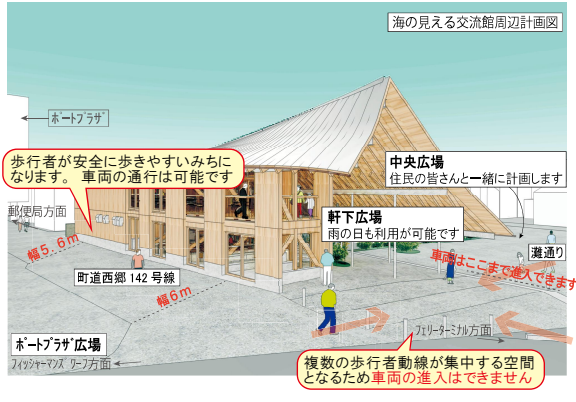
▲意見交換会の様子

■難通りについての意見

- ・通行止めになっても慣れれば問題ない。
- ・すべて歩道化したほうが安全で良い。
- ・現状と幅員が変わらないのであれば問題ない。
- ・普段はあまり車で通らない。
- ・車両通行止めにはしないでほしい。
- ・通り抜けが出来ないと広場でのUターンが難しく危険。

■町道西郷142号線についての意見

- ・みちが狭くなっても車がすれ違えるなら問題ない。
- ・狭くなくても気を付けて通行すれば問題ない。
- ・郵便局へ行く際は別ルートを使うので影響はない。
- ・車で通行する際に不便なので現状の幅員を維持してほしい。
- ・臨港道路からの出入りが狭くなると使い勝手が悪い。



開催した意見交換会ほかに一覧

日時	対象
3月22日(日)	中町8町内
3月27日(金)	中町9町内
3月29日(日)	西郷港周辺地区地権者会
3月30日(月)	アイノマーケット推進協議会
4月5日(日)	中町6町内
4月12日(日)	中町7町内
4月13日(月)	出雲大社総代会
4月16日(木)	中・布施地区(区・自治会等コミュニティ連絡会議)
4月17日(金)	西郷地区(区・自治会等コミュニティ連絡会議)
4月19日(日)	中町1町内
4月19日(日)	西町1・2町内
4月22日(水)	風待ちサロン
4月22日(水)	五箇地区(五箇地区区長会)
4月26日(日)	中町全体(町長出席)
4月27日(月)	都万地区(都万地区区長会)
5月11日(月)	中町2・3町内
5月12日(火)	中町4・5町内
5月15日(金)	アイノマーケット推進協議会

◆中町全体を対象とした意見交換会をおこないました

4月26日(日)には、中町地区全体と町長を交えた意見交換会を、ポートプラザ2階大会議室でおこないました。

当日は、交流館と周辺整備の概要や、これまで各地区でうかがってきた主な意見を整理して共有しました。そのうえで計画の考え方やこれまでの経緯について説明し、会場からの質問や意見に町長が直接お答えする形で進行了しました。



▲意見交換会の様子

■意見交換の内容

この意見交換会では、みちの幅や交流館周辺の計画に関する質問が多く寄せられたほか、広場の使い方やまちづくり全体についても様々な意見が寄せられました。(以下、意見交換会より抜粋)



みちについては、車のスピードを出さないような工夫があるので、この計画であれば危険はないと思う。



142号線について、軒が出る部分は道路法上の道路ではないはずである。その扱いをどう考えているのか気になっている。大きな軒下を設けるのではなく、もっと小さくまとめる方法があるのでは。

道路法上の道路に該当しない部分も含め、みち・敷地・広場を一体的に使う考え方で計画を整理しています。大きな軒下は、交流館の利用により人の出入りが増えることを踏まえ、来訪者や歩行者を受け止める空間として必要だと考えています。



広場がいくつか計画されているが、どれだけ利用されるのか疑問に感じている。船から降りてきた人が休めるような場所が欲しい。



子どもが遊ぶ所が少ないので、子どもが遊べる広場になると良いと思う。



駐輪場および交流館や周辺施設利用者の駐車場も考えてほしい。

広場の使い方については、今年度、住民の皆さまと一緒に考え、社会実験をおこないながら計画を立てていく予定です。また、自転車置き場や駐車場については、交流館や広場だけでなく、西郷港周辺全体の利用のあり方との関連も踏まえて整理していく考えです。



現状、中町には空き家が多く、寂しく感じている。まちづくりについては役場だけで決まらずに住民と話し合う場を設けてほしい。

西郷港周辺まちづくりは、8年間、住民の皆さまと対話をしながら進めてきました。今後も住民参加型のまちづくりの取り組みを着実に進めていきます。



隠岐を一度離れた子どもたちが帰ってきたと思えるようなまちにしてほしい。

町では継続的に小学校、中学校、高等学校、養護学校を対象としたまちづくり授業を実施しています。子どもたちの方から個人としてもまちづくりに積極的に関わりたいという提案が出ています。このような次の世代の視点も大切にしながら、地域の将来を見据えた取り組みを進めていきます。



今回の意見交換会では、これまで各地区でうかがってきた内容も踏まえ、地域の皆さまがどのようなまちの姿を望んでいるのかを改めて確認する機会となりました。

交流館と周辺整備については、議会での請願採択や附帯決議の内容を受け、住民の皆さまへの説明や計画内容の整理など、町として必要な対応を進めてきました。今回の意見交換会で寄せられたご意見も、これまでの意見交換会でいただいた内容とあわせて整理し、今後の整備を進めてまいります。

■今後の予定

- 海見える交流館は、令和9年度のオープンを予定しています。
- 周辺広場については、令和8年度に住民の皆さまのご意見をうかがうワークショップを開催予定です。